

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	しあわせ駅石丸				公表日	令和 7年 1月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		学習スペース・運動スペース・クールダウンスペースがあり、スペースの確保は出来ている。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者2人に対して職員1人の対応をとっている。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			分かりやすい構造になっているが、バリアフリーではない箇所もある。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		30分に1回程のペースで室内換気を行って感染症対策に配慮している。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		クールダウンできる空間がある。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者様のニーズに寄り添い対応出来るように取り組んでいる。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		終礼で、その日に気になった出来事や連絡事項を話し合い、業務改善に努めている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		虐待防止・感染症対策・緊急時対応・安全運転等の研修会を開いている。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		活動プログラムをスタッフ一同で話し合い内容の共有をしている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		活動プログラムをスタッフ一同で話し合い内容の共有をしている。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援・ペア支援・集団支援を行っている。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援開始前に送迎の時間の確認、前日からの申し送りの伝達を行っている。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		子どもの様子や気になった点、送迎時に保護者様との連絡事項内容を話し合い共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人の活動記録用紙に、当日の活動の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半期に一度、もしくは必要に応じてモニタリングを行い見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども達の意思が尊重されるように対応している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校送迎時に引き渡しの際、学校での出来事や様子・放課後等デイサービスでの様子の情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所とは情報共有をしているが、その他とは行っていない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		系列法人の作業所とは情報共有できているが、その他とは行っていない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時にその日の様子をお伝えしたり、支援中の様子を写真に取めLINEで共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的に法人主催のペアレントを行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			コロナ禍以降、保護者会等を開けていないので、今後再開を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情につきましては、納得して頂ける対応を心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		長期休暇中の活動予定を事前に書面にてお知らせをして、活動の様子はSNSなどでお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域のイベントに参加したり、手振りやみかん狩りに行ったら近隣の方におすそ分けでお配りしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様から頂いた情報に基づき、おやつやクッキングの際は、アレルギー成分が入っていないか十分配慮している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した場合は、その日のうちにスタッフ間で周知徹底して再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内研修を行い、虐待に対しての意識を高めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	しあわせ駅石丸		
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 1日	～	令和 6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業員評価実施期間	令和 6年 10月 1日	～	令和 6年 10月 31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 11月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設の充実(学習スペース・運動スペース・クールダウンスペース等の部屋がある。)	本人が、今取り組みたい事を引き出し、自主性を育む支援を行っている。	個別支援を行い、子ども達が自分の気持ちや心の状態を確認出来るようサポートしていく。
2	運動スペースの壁一面に大型のボルタリングを設置している。	身体の使い方、他児の動きを見て自らの挑戦意欲を高めれるようにしている。	達成感が持てるように、出来た時はたくさん褒めて、意欲がわくような支援をしていく。
3	事業所の道向かいに公園がある。	複数名とスタッフを交え、追いかけっこや鬼ごっこ等で身体をたくさん動かしてストレス発散に繋げている。	その季節の草木などの変化にも目が向くように、声掛け支援をしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者同士の交流する機会を設けていない。	ご家庭の事情(共働きや一人親世帯など)で時間が取れず参加出来る日程が取れない。	出来るだけ多くの方に参加いただけるように、数回に分けての開催を検討する。
2	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園との情報共有が出来ていない。	契約が年度末になる為、情報共有する時間が取れていない。	近隣の保育所等との連携が取りやすい関係を構築していく。
3	学校卒業後の福祉サービス事業所移行の情報共有が出来ていない。	系列法人の作業所以外との連携が取れていない。	卒後のサービスにスムーズに移行できるよう、必要に応じて連携を図っていく。